

# 信条は「現場第一主義」

公明党公認候補・**荻原宏悦氏** 県議選への意気込み

来年春の県議選の豊橋市選挙区に公明党から公認された荻原宏悦(ひろよし)氏(54)が20日、引退する同党県議の渡会克明氏とともに東海日日新聞社を訪れ、立候補の意思を明らかにした。

信条は現場第一主義。小さな声も政治に反映させ、命を守る政治・地域経済の発展を目指す。具体的には防

災・減災、中小企業対策、認知症対策、子育て支援の4項目を掲げた。「営業で培った忍耐と行動力、そして1つの物を仕上げて最終的な目標に結びつけるプロデュース力を政治の場でも発揮したい」と意気込みを語った。

渡会県議は「県議の仕事は交渉事も多い。彼は即戦力になる。苦勞もしてきたし、粘り強さもある」と話した。

市内野田町在住。地元の小中高校から愛知学院大学へ。卒業後はマンション業者「三立プレコン」で不動産部部長を務めるなど30年以上にわたって建築の営業畑に携わってきた。10月末に退職し、党県市民活動局長を務めている。

豊橋市選挙区(定



あいさつに訪れた荻原氏(左)と渡会氏(東海日日新聞社で)

数5)は現在、現職含めて7人が出馬の意向を表明している。(森美香)